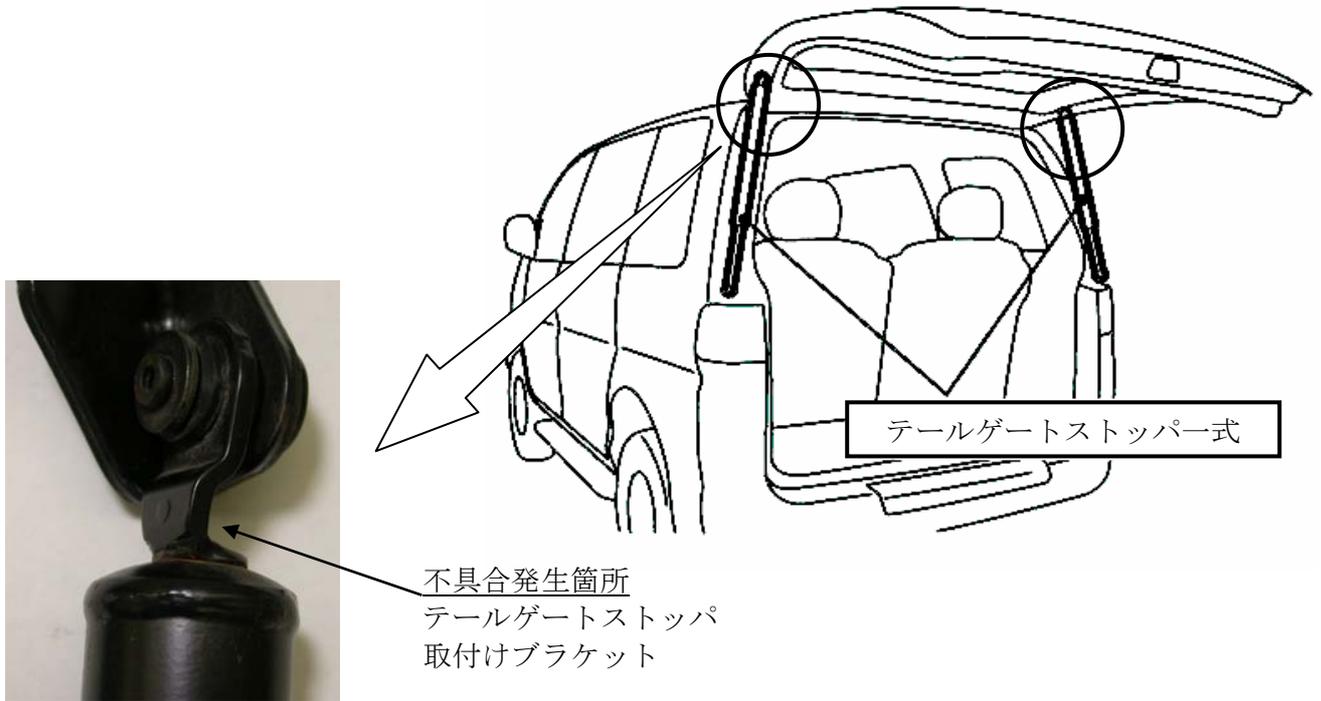


改善箇所説明図



テールゲートストッパーのテールゲート側ブラケットの成形方法が不適切なため、局部的に板厚が減少し、強度が不足しているものがある。そのため、走行中の振動およびテールゲート開閉の繰返しの負荷により、当該ブラケット板厚減少部に亀裂が発生し、最悪の場合、ブラケットが破損しストッパーが外れ、テールゲートが突然降下するおそれがある。

改善の内容

全車両、テールゲートストッパー式を対策品と交換する。なお、全ての使用者に不具合内容を通知するとともにテールゲート開閉操作時の留意点につき注意喚起を行った上で、対策品への交換作業を実施する。

注： 内は交換部品を示す。

識別：左側テールゲートヒンジ部に白色または黄色のペイントを塗布する。